

すわみつえ通信

No.65

日本共産党鴻巣市議員 諏訪 三津枝

2019年 3月4日(月)



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで suwa-mitsue.jp/

ホームページで政策をご紹介します。
QRコード作成中。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

鴻巣市議会 3月定例会代表質問

市長の施政方針と
二〇一九年度予算
(案) 大綱に対して
市民の立場で質問

月	日	時間	会議
20	18/4/11	9時	鴻巣市議会 本会議
21	18/4/12	9時	鴻巣市議会 本会議
22	18/4/13	9時	鴻巣市議会 本会議
23	18/4/14	9時	鴻巣市議会 本会議
24	18/4/15	9時	鴻巣市議会 本会議
25	18/4/16	9時	鴻巣市議会 本会議
26	18/4/17	9時	鴻巣市議会 本会議
27	18/4/18	9時	鴻巣市議会 本会議
28	18/4/19	9時	鴻巣市議会 本会議
29	18/4/20	9時	鴻巣市議会 本会議
30	18/4/21	9時	鴻巣市議会 本会議
31	18/4/22	9時	鴻巣市議会 本会議

1. 政府発表の経済状況と
市民の生活実感の相違に
ついてどう捉えるか

2月28日(木)の各会派による代表質問が行われ、すわみつえ市議は日本共産党を代表して市長に質問をいたしました。会派構成人数により質問時間が決まっています。日本共産党は質問・答弁合わせて20分間です。

質問7分間、答弁13分間と見立て、市長の市政方針の「内需を中心に緩やかな回復が続くことが期待される」と政府発表の「順調な景気回復」と歩調

政府発表の信頼性が 損なわれている

勤労統計調査の偽装が発覚し、厚生労働省が、労働者の賃金の伸びは公表値よりも低かったことを認め、「下方修正」したことで、政府発表の経済状況の信頼性は大きく損なわれていることを指摘しました。

「多様な意見があることは承知している」としながらも、「個人によつて考え方、捉え方が違う」と実質賃金が下がり、年金が下げられて市民のくらしが大変になっていることに真摯に向き合う姿勢は感じられませんでした。

2. 市民が望む緊急度・
優先度に基づく事業の
選択となっているか

① 喫緊の課題として取り組んだ総合病院はどうなるか

② 道の駅整備事業で農業振興は進むのか

③ 「コウノトリの里づくり事業の実現性は

答弁では「総合病院誘致」は言及されず、「病診連携」の推進にとどまりました。農業振興では、農業法人等の誘

致で「イチ」や「トマト」の売れ筋に力を入れるとし、「コウノトリ事業は人にも生きものにもやさしい環境にする事業であると答弁がありました。

3. 本会議で新年度予算
(案) の質疑を行う

駐輪場学割制度

鴻巣駅・北鴻巣駅・吹上駅の8箇所の駐輪場で大学生までの定期利用に限り10月1日より20%の割引をするというもの。すわみつえ市議が一般質問で求めた新規事業です。

自衛官募集

法定事務で毎年予算計上されていますが、安倍首相が18歳と22歳の氏名や住所の名簿の提供を求めていることが大きな問題となっている中で、本市の対応を確認しました。「閲覧」に応じていることがわかりました。

ごみ減量

国の指針にある家庭ごみ一人一日あたり500gの目標に対して、本市の状況を確認しました。新ごみ処理施設はごみを減量して施設規模を小さくしていくことを求めました。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

社説

Editorials

国は沖縄の声を聞け

県民投票の結果を受けてガンバロウ三唱する県民投票連絡会の人たち＝2月24日、那覇市内
辺野古県民投票を



新基地ノー圧倒

県民投票 反対7割超

沖縄県民が名護市辺野古の米軍基地建設に明確なノーの意思を示しました。2月24日に投票された辺野古埋め立ての賛否を問う県民投票。投票率は5割を超え、「反対」は43万4273票で投票総数の約7割を占めました。昨年9月の知事選で玉城デニー知事が獲得した票も大きく上回りました。デニー知事は力を込めました。「政府は、沖縄県民の辺野古埋め立てを決して認めない確固たる民意を正面から受け止め、『辺野古が唯一』の方針を直ちに見直し、工事の中止を」

政権と沖縄

対話なしに展望はない

県民に寄り添う。県民投票の結果を真摯に受けとめる。その言葉が本心であるならば、行動で示して欲しい――。

沖縄県の玉城デニー知事は、きのう安倍首相にそう迫った。当然の要請である。政府は辺野古の海の埋め立て工事をただちに中止して、県との話し合いに応じるべきだ。ましてや、今月下旬に予定している新たな海域への土砂投入など、到底認められるものではない。

会談は、先日の県民投票の結果を伝えるために開かれた。あわせて知事は、二つの対話と呼びかけた。一つは、米軍普天間飛行場の地元が被っている負担の軽減策を話し合う会議（国、県、宜野湾市）の開催、もう一つは、在沖米軍基地の現況や今後について検証・協議する場（日米両政府と県）の新設だ。国際情勢の変化などに目をふ

さいで「辺野古移設が唯一の解決策」を繰り返して、結果として普天間の危険性も放置してきた政権に対し、問題解決に正面から取り組むよう促すものだ。しかし首相から前向きな発言はなく、逆に「普天間の状況を置き去りにするわけにはいかない」という言い方で、辺野古での工事を進める考えが改めて表明された。「寄り添う」「真摯に」といったきれいな言葉が、「本心」ではないことを示すものにはかならない。

玉城知事が「対話」を重んじる背景には沖縄の歴史がある。第2次大戦で悲惨な地上戦を体験した沖縄は、戦後、米軍政下におかれ、本土に復帰しても過重な基地負担を強いられた。人権、自治を獲得するため、米軍や日本政府と闘うときの最大のよすがになったのは、言葉だった。強大な相手でも、対話を

通じて物事を解決に導こうという価値観は、いまでも県民に受け継がれているという。県民投票でもそのことが示された。実施のための署名集め活動の中心になった元山仁士郎さん(27)は、世代や地域、賛否をこえた話し合いの必要性を説いた。投票への不参加を一時表明した市長たちにも面会を求め、意見を交わし、曲折を経て、全県投票にこぎ着けた。

朝日新聞の最近の取材に、玉城知事はこう語っている。「対話で互いの考え方を確認できる。隔たりのある問題だからこそ、どこに隔たりがあるのか、越えられない壁なのか、埋められない穴なのかを考え、そこを避けることができる」力ではなく、対話によって解決の道を探る。いま政府に何より求められることであり、その姿勢なしに将来の展望はない。

しんぶん赤旗 3月1日付

しんぶん赤旗 3月1日付

#訴えから

統一地方選・参院選

元公明党副委員長
二見伸明さん

私は埼玉に縁があり、昭和20(1945)年に蕨市に越えてきて、20年間住みました。だからこそ、埼玉(のみなさん)には素晴らしい力を発揮してほしい。

違憲だと言われてきた集団的自衛権の行使容認を閣議決定するなど、憲法をやぶっても平然としているのが、安倍政治の実態です。今、ここで立ち上がらなければ日本は変わりませんよ。共産党を強くし

野党強くするため共産党強く



ないと野党は強くなりません。本気になって民の声を聞いて立ち上がっているのは、共産党だけだと思います。

みなさん、頑張りましょう。行田市に忍(おし)城というのがありますが、豊臣秀吉の大軍に水攻めにされた城を、民衆の力を借りて守ったという話があります。権力に真っ向から立ち向かう力を、われわれは持っています。

選挙で勝って、日本の国を変えましょう。本当の意味での自由と民主主義の国、民が豊かになる国づくりをやりましょう。(24日、埼玉県越谷市の演説会で)

選挙情報

統一地方選挙で、住民が注目する政策は何だろうか。記者はインターネット検索で入手できた1都25県の住民世論調査で上位3位までを調べ、探ってみました。福祉対策の充実を求める声が強く、自然災害が相次いでいることを受けて防

世論調査 福祉・防災充実の願い強く

「子育て・少子化対策」が1位となりました。防災対策の充実も10都県で上位に。埼玉県では17年度調査で4位だった「災害から県民をまもる」という項目が、18年度調査では1位となりました。富山県も「雪に強いまちづくり」が5位から1位へ順位を上げました。

このほか、若者などの雇用対策の推進、地域医療の充実なども多くの県で上位となりました。若者等の就業支援や雇用環境の整備を求める意見が1位だった秋田県では、これを県の特定課題として、若者の県内就職の増加に必要な施策を問う調査も実施していました。(中野侃)

消費税10%やめさせよう

ただでさえ生活が大変な若者に大ダメージ。「間違いなく消費が冷え込む」(セブン&アイホールディングス名誉顧問の鈴木敏文氏)と経済界からも反対の声が広がっている。

消費税10%になったら、生活に必要なものも買えなくなるかも

